水分散液 ELLEX-S

CNF水分散液の製造技術として、製造コストの低減を目的に、三島工場(愛媛県四国中央市)に設置したパイロットプラントで開発した省エネルギー型CNF製造プロセスを開発しました。さまざまな原料パルプからCNFを製造することができ、以下の4種類のサンプルを提供しています。

生産能力:年間約100トン(最大生産時)

<種類>

A: 化学パルプ(広葉樹漂白品)

B: 化学パルプ(針葉樹漂白品)

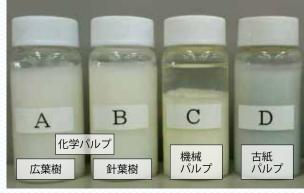
化学処理によって得られるパルプを原料とした最もオーソドックスなCNFです。疎水性のリグニン含有分が少ないため保水性が高く、親水性材料との相性が良いのが特徴です。

○:機械パルプ(漂白品)

物理的な力で木材を破砕したパルプを原料としたCNFです。 リグニン含有量が多いため、脱水性に優れ加工効率が良いことや、疎水性材料との混合性の向上が期待できます。

D: 古紙パルプ(雑誌古紙パルプ·漂白品)

雑誌古紙由来のCNF中に微細化された無機粒子を含むため、樹脂と複合した際には安価に補強効果が期待できます。











100nm

チキソ性

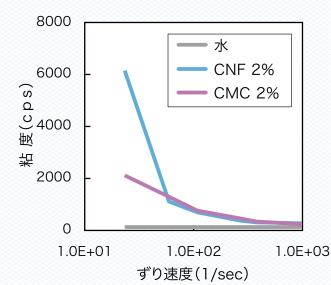
CNFの水分散液は、静値状態では高粘度を示しますが、 せん断力を受け続けると粘度が次第に低下し液状にな るチキソトロピー性を示します。

曳糸(えいし)性

- ・増粘効果があるが曳糸性は低い。
- ・添加してもべとつき感が生じにくい。

CNF

CMC







2.0%

固形分濃度

4.0%

3,720cps

B型粘度

3,700cps

